



MOVIE NEWS
10月31日(水曜日)

映画「野球部員、演劇の舞台に立つ!」製作配給委員会
〒834-0047
福岡県八女市稲富111-1
電話/FAX:0943-24-9061
email:koushien-642@hi3.enjoy.ne.jp
発行人:鈴木一美
編集:白石ルリ子
高尾美由紀
←HPはこちら

秋葉原で劇場再上映実現

販売開始後わずか30分で完売

映画再上映リクエストランキングサイト「ドリパス」で「野球部員、演劇の舞台に立つ!」が2位に輝き、11月4日秋葉原UDXシアターでの再上映が決定した。10月11日(木)20時40分からチケットが販売開始され、約30分で170席が完売した。サイト上では「あっという間に売り切れてしまいチケットを取れませんでした。追加上映どうかお願いします!」「見に行きたかったのですが日程が合わず(涙)」「東京での追加上映本当にお願いします!」「都内激戦ですね。さらに追加上映してほしいです」など多くの追加上映リクエストがあり、11月18日

(日)追加上映が決定した。
2回目も全席完売!
チケットは10月25日23時20分と深夜に販売開始されたが、7分であっという間に70席が売れ、数日で170席を完売した。秋葉原では出演者による舞台挨拶も予定されている。

他にも「愛知での上映お願いします!」「宮城でも上映してください!」など、全国各地からリクエストが寄せられた。大阪や京都からも要望があったが、ドリパス登録者数やリクエスト回数等を考慮され、ロケが行われなかった。福岡での追加再上映が決定した。12月2日T.O.H.O.シネマズ天神ソラリア館、座席数256席の古くから映画ファンになじみのある映画館での上映だ。チケットお求めの際はドリパスHPまで。

芋生悠 女優として母校に凱旋

OB 中山監督 問題発言も

熊本市の北に位置する県立大津高校の体育館は、二面のバスケットコートが余裕をもって設置されているほどの大きさである。10月26日、会場となる体育館の床板の冷たさが、直に足に伝わる寒さの中、当作品の上映準備が熊本映画センターによって進められた。この日は、当校卒業生である中山節夫監督、ともちゃん役の女優芋生悠(はるか)の凱旋舞台挨拶もあつて900余名の在校生、教職員、城北地区の他校の芸術鑑賞担当教諭も10数名ほど来場され、作品への期待のほどが伺われた。今回は、一次上映及び二次上映において1回の観客数では最大人数であったが、12000のプロジェクトという光量出力最大のスクリーンも

二次上映使用のものとしては最大のものであった。司会者に誘導されて中山監督と芋生さんが入場されると万雷の拍手が起こり、上映に先立ち赤星校長の挨拶、その後中山監督、芋生さんの紹介が続き、上映が始まった。

当初はひんやりとした館内であったが、上映中半ばから会場のあちこちで鼻をすすり上げる音が聞こえだしたあたりから、場内の空気も緩みつつも、生徒に限らず教職員までスクリーンにくぎ付けとなって観ている。やがて、クライマックスを過ぎグッドタイミングの主題歌が聞こえてくると、一気に場内の温度が上がり汗ばむほどになり、終了後はそのために戸を開けて空気の入れ替えをしたほどであった。

上映終了後には、在校生で図書委員長もとさんの司会による質疑応答がありました。最初に、「林遣都さんは格好良かったですか?」「映画の撮影はどんな時が良かったですか?」「に続き、「在校時はどんな生徒でしたか?」「の質問に、中山監督からは「不良だった」という問題発言、芋生さんからは「高校時代、絵に出会って自己表現

が出来るようになりました。大津高校で夢を見つけたことが嬉しかったです。」と語り、会場が沸いた。

中には自身の名前「悠」をゆると読む男子生徒から芋生さんに親近感を表すパフォーマンスがあったりして笑いを誘った。最後に、生徒に一言をお願いされると、中山監督は「今できることを懸命にやれば、自然に夢に繋がっていく。今の時代を大事にしなから、とにかく自分で考えて、その考えを大切に行動して。」と呼びかけた。また、芋生悠さんは「いつも素晴らしい役ばかりだったが今回は面白い役だったので不安だったが、中山監督に言われて役作りに向きになった」と語った。そして次回出演作のサブライズ報告もあつたが、これについては次号で紹介したい。質疑応答も終わる会場を後にする際、全員の総立ちの盛大な拍手によって送られていた。

【日程変更】【東京都:11/4上映】「野球部員、演劇の舞台に立つ!」復活上映!!

秋葉原UDXシアター
2018/11/04(日) 13:40-
限定170枚チケット ¥1,600円
SOLD OUT
170枚完売しました!
170枚購入済
11月4日 SOLD OUT

司会者から質問を受ける
中山監督(左) 芋生悠(右)

上映を待つ全校生徒

母校に飾ってある自作自画像

質問に答える鈴木一美プロデューサー(左)

質問に答える鈴木一美プロデューサー(左)

林遣都ファンが殺到

福岡映画サークル協議会発足50周年記念

10月28日福岡映画サークル協議会発足50周年を記念して「メイド・イン・ふくおか」をテーマに映画「野球部員、演劇の舞台に立つ!」上映とシンポジウムが開催された。主催者は、毎回鑑賞者はお年寄りが多いサークルなのに、この日は若い女性が目立っていて、鑑賞者数も150名と多かつたと驚かされていた。今回前売券は、チケットぴあやローソンチケットで取り扱ったそうだが、前売りでローソンチケットがこんなに売れたのは初めてだったそう。若い方、特に林遣都さんファン女性の影響だろうとのこと。協議会事務所にも「ファンですが、また久留米で上映やらないですか?」という問い合わせの電話もかかってきているそう。

上映前、「野球部員、演劇の舞台に立つ!」プロデューサー鈴木一美氏、「はなちゃんのみそ汁」監督阿久根知昭氏、いとシネマ代表福島良治氏による鼎談が行われ、たくさんの方が真剣に耳を傾けていた。《地方発》映画製作と普及についてをテーマに鼎談後、来場者からの質問コーナーが設けられた。6名程の方が質問されていて、そのうち5人は鈴木プロデューサーへの質問だったことからも本映画への高い関心がうかがえる。「いつから八女に移住したのか?」「自分も林遣都ファンなのですが関東地方在住のファン友が自分も地方で観たいと言っているがどうやって観れるのか?」「劇場上映館数はどうやって決まっているのか?」「DVD化の予定は?」等熱心な映画ファンの方から質問が飛び交った。

映画上映前には、パンフレットを求める方も多く、劇場外に飾ったサイン入りポスターや撮影時使用ユニフォーム等に熱心に見入っていた。上映後もパンフレットに行列ができていつもの20倍の販売数だったとのこと。鑑賞者のほとんどが「12月2日T.O.H.O.シネマズの再上映もまた観ます。」と嬉しそうに会場を後にした。



質問に答える鈴木一美プロデューサー(左)

皆さんの声

～Twitterの感想～

～ドリパスサイトより～

福岡映画サークル協議会発足50周年記念
～アンケートより～

★前回久留米での上映を観れず残念に思っていたので今回観れて嬉しいです。

八女の風景がたくさんで林さんのファンなのでそれも嬉しくて楽しみにしていました。作品も素晴らしいので観てもらえるといいなと思いました。またTOHOシネマでも観ます。

★自然に作られていて素直に感動しました。俳優の演技も自然でとても良かった。特に主演の人は目力というか自然と役の気持ちになれた。八女の風景も素晴らしかった。実話を基にして作られていた。実話の力はすごいものがある。

★林遣都くん目当てで来ましたが映画としてもとても面白い良い作品だったと思います!!笑いあり涙ありでした。もっといろんな人に観てもらえたらいいですね!心の機微の表現が素晴らしかったです。

★エースの望月が演劇部の舞台に立つことになったことで、何に気づいていくのかが興味深く描かれていて観た後気持ち良い映画でした。望月と音響担当の無口な生徒との交流も、部活動で得られるものの大切さを教えてくれる。中山監督は「ブリキの勲章」「セイリング海にはばたく」等高校生、中学生を描いてきた実績があり、さすがと思わせる出来栄でした。

★遣都君の演じる田川先輩はいちご農家。こんなに色白の農家がありますかね?透き通ってた...見た目は地味なお兄ちゃん。が、演劇のことになるとなんでも的確に言っちゃう。メンチも切っちゃう←ドアップ!!!腹式呼吸や丹田の位置を手取り足取り教えてくれます。

★気になったのは女生徒がとても良い子すぎて先輩に従順ね。信頼の塊。きっと物語に前に田川先輩ともチアダンばりのゴタゴタがあったはず!と想像するのが楽しい?音響のサトシが良い味出てる。役が付かなかった子にもさりげなく気遣う先輩。優しい。

★とても良い映画でした。甘酸っぱくちょっと恥ずかしく青く何もかも吸収できる時間。自分の高校時代を振り返りほんわかした気持ちになれました。遣都くんが出る度に心の中でひゃー!と叫びながら熱演を観賞。時に激しく時に温かい林遣都の芝居が堪能できます。

★地元福岡のお話だったので方言がとても楽しかったですけど信じられないくらい博多弁が流暢で遣都君の口からバカタレが!という言葉聞いた時感動すら覚えました...涙。あと、想像以上にいいお話で何故これが円盤にならないのか非常に疑問。

★いや、こんなに遣都くんが登場するとは?笑った顔や怒った顔やウルウルな顔が大画面に~?普通の青年なのにめちゃくちゃカッコいいし、こんな熱いイチゴ農家の先輩がいたら即落ちますわ私?内容も良かったし円盤化して!

★内容は明快かつ、深い。青春真っ只中な人も、はるか彼方に通りすぎた人も(笑)誰しもの心にほっこり刺さる映画だと思います。地方発らしい、ありのままの佇まいが美しい!もっと広まって欲しい!個人的に、ケントハヤシは、この位の立ち位置とビジュアルと無重力さ最高*!

★東海地方、名古屋での上映をお願いします。どうしても劇場で観たいです。

★京都で上映されたら絶対行きますので、ぜひ上映して下さい!お願いします!

★北海道での開催をお願いします!すごくすごく見たいです

★四国でも上映を!

★広島でもぜひ観たいです。

★今の林遣都君の勢いからも、今後に控える作品についてはキャパの大きいシアターを切望いたします

★とてもとても観たかったのですが日程が合わずに断念しました。あつという間に完売したようなので、もう一度再復活上映してもらえたらうれしいです

★「野球部と演劇部が共演?」上映終了後にこの映画のタイトルを知り観てみたくなりました。舞台の上のお芝居するシーンがあるのなら、ネット動画やテレビよりも大きなスクリーンで観るのがベストだと思います。京都、大阪できるなら奈良でも上映されると嬉しいです。

★とにかく爽やかです。見終わって素敵な風が吹きます。全国の中学生と高校生に見せたい映画ですし、一緒に見られるであろう先生方や保護者の皆さんも自分の青春を思い出してキュンとするはず。是非映画館でまた見たいです。

★実話を元に作られた映画でもあり見てみたいと思いました。思いやりや優しさというものの、本来の意味が分かってるようで、分かっていない若者たち...。今の中高生達が見て、感動した心に響いた、という感想を聞きました。今、世の中に必要な映画であると思います!

4つの栄冠獲得!

<上映予定>

上映日	都道府県名	地域名	主催者	上映場所	上映形態
2018/11/1	長野	安曇野市	穂高商業高等学校	穂高商業高等学校	本上映
2018/11/1	長野	長野市	篠ノ井高校	篠ノ井高校	本上映
2018/11/2	岡山	倉敷	倉敷高校	倉敷高校	本上映
2018/11/4	東京	秋葉原	TOHOシネマズ 番組編成	秋葉原UDXシアター	本上映
2018/11/8	広島	広島	広島崇徳学園体育館	広島崇徳学園高校	本上映
2018/11/11	福岡	八女市	製作配給委員会	おりなす八女	本上映
2018/11/15	長野	阿南町	阿南高校	阿南高校	本上映
2018/11/18	東京	秋葉原	TOHOシネマズ 番組編成	秋葉原UDXシアター	本上映
2018/11/20	岡山	岡山市	岡山商科大学附属高校	岡山商科大学附属高校	本上映
2018/11/23	福岡	八女市	とびかた映画村実行委員会	白木小学校	本上映
2018/12/2	福岡	糸島市	一貫山公民館	一貫山公民館	本上映
2018/12/2	福岡	糸島市	引津公民館	引津公民館	本上映
2018/12/2	福岡	糸島市	姫島保健福祉館	姫島保健福祉館	本上映
2018/12/2	福岡	福岡市	TOHOシネマズ 番組編成	TOHOシネマズ天神ソラリア館	本上映
2018/12/7	岡山	岡山	山陽女子高校	山陽女子高校	本上映
2018/12/7	福岡	八女市	八女市障害者週間啓発事業	おりなす八女 (バリアフリー上映)	本上映
2018/12/9	福岡	八女市	八幡校区映画鑑賞会	八幡小学校	本上映
2019/1/5	大阪	大阪市	TOHOシネマズ 番組編成	シネマート心斎橋	本上映
2019/1/19	岡山	岡山	岡山県映画普及センター	天神山文化プラザホール	本上映
2019/2/3	福岡	八女市	製作配給委員会	おりなす八女	本上映
2019/3/17	福岡	八女市	製作配給委員会	おりなす八女	本上映